



一般社団法人

富山県作業療法士会 ニュース

平成26年度 No.3

第114号 平成26年11月12日

発行 富山県作業療法士会

会長 田村良子

印刷 株式会社チュウエツ

富山県作業療法士会ホームページ <http://toyama-ot.sakura.ne.jp>

富山県作業療法士会会員数：533人

第15回 富山県作業療法学会について

かみいち総合病院 山崎京子

この度、第15回富山県作業療法学会の学会長を務めさせていただき、かみいち総合病院の山崎です。今年は、12月7日(日)に、上市町にある北アルプス文化センターで開催させていただきます。

今回の学会は新川地域が担当です。学会開催日より約1年前である昨年、私も含め学会運営ではほぼ新人の運営委員が、たびたび集まったり連絡を取り合ったりして、経験豊富な2名の特別顧問の協力のもと、試行錯誤し準備を進めてきました。これからは、学会準備の最終段階に入るため、参加される皆様が安心して学ぶことができるように、気を引き締めていきたいと思っています。

発表演題は、最終的には十分に集まりました。通常勤務の仕事をしてながら準備をされている発表者に感心させられます。座長は、ベテランからやベテランの会員に引き受けていただきました。皆、論客の方々と、とても頼もしいです。

今回、ワークショップとして、生活行為向上マネジメント・ADOC・スクエアステップの3種の紹介および体験コーナーを企画しました。参加される方々が、勤務先で役立つための知識と情報を得ることが目的なので、各種目の先駆的な作業療法士に指導していただきます。

特別講演は、県立広島大学教授の吉川ひろみ先生で、講演のテーマは、学会のテーマと同じ「主体的な生活を支援するには」です。作業療法士は、患者さんの生活環境を知り、主体的な生活がおくれるように支援することが大切です。講演を聞くことにより、そのための幅広い能力がつくことを期待しています。

年に1回の県学会は、新人からベテランまでの作業療法士が、全体でレベルアップするために、学ぶことのできる大変良い機会になると思います。多方面に学会があるなかで、作業療法士にとっては、特に専門である作業療法学会が働く知識を多く得る場であることに加えて、作業療法士同士が交流することにより働いていく自信をつける元気の源になると思います。

北アルプス文化センターは、名前のお通り、天気の良い日は、北アルプスを壮大な風景で見ることができるところにあります。富山県では、かなり遠い場所からも北アルプスを見ることができませんが、12月7日には、そのふもとを目指して集合していただけるようにお願いします。

運営委員一同お待ちしております。

第9回 精神障害部会研修会を開催して

谷野呉山病院 堀口 明美

今回、「精神科作業療法の評価と治療」というテーマで研修会を開催し、約30名の方が参加されました。

精神科では症状が目に見えにくいゆえの状態把握の難しさや、評価方法が様々あるなどの理由から、評価や治療が患者さんをはじめ周囲に適切に伝えられているのかなどとを感じる場面が臨床の場ではよくあります。そこで、作業を用いた評価と治療に重きをおいて患者さんの治療に携わっていらっしゃる、金沢大学附属病院リハビリテーション部作業療法士菊池ゆひ先生を講師にお招きしました。

講演は、患者さんや医療スタッフは作業療法士に何を求めているのか？という話から始まり、評価とは何か？何をいれれば誰がみても曖昧にならない基準を作られるのか？という内容に話がおよび、『数値化』という1つの基準が示されました。一般的には検査を行うと数値で結果や経過が

示されており、これを精神科の評価や治療に当てはめるとどうなるのかという事を、事例を交えて具体的に示してくださいました。数値化出来るものとしては、作業に取り組んだ時間や作業量などの作業から得られる数値、水を飲む回数やトイレの回数、手を洗う回数などの行動から見られる数値があり、これらを毎回の療法毎に測定し、それが何による変化であるかを考える事が評価となり、患者さんまたは医療スタッフに数値をグラフなどにして提示していく事で解りやすく伝える事が出来、治療に結び付けられる、といった内容を話されました。

参加者からは数値化することの重要性が分かった、臨床で使えそうといった感想が多く聞かれました。今後もこういった感想をいただけるよう、また、身近な疑問に答えられるような研修会を開催し、各自のスキルアップに繋がりたいと思います。

会員異動等

種類	氏名	旧所属	新(現)所属	備考
退会	根岸 佑美	松岡病院		
退会	大石 司	布谷整形外科医院		
異動	平井 千香子	矢後病院	セーナー苑	
異動	尾山 夏子	呉陽病院	自宅	
異動	砂田 環	みしま野苑一穂	自宅	
改姓	河口 聡子		八尾総合病院	旧姓：岩倉
改姓	吉川 郁恵		ゆうゆうハウス	旧姓：渡辺

懇親会に参加して

シルバーケア栗山 橋本 明洋

平成26年9月20日に、毎年恒例となった福利厚生部開催の懇親会に参加してきました。今年度の懇親会は新人の先生からベテランの先生まで20名が参加されました。私は今年度より福利厚生部長となり、懇親会の開催に責任者として深く携わったのは今回で2回目の経験となりました。

県士会の懇親会といえばどのようなイメージを抱きますか？新人の先生がベテランの先生にお酒を注ごうと大名行列のような列ができていたり、ベテランの先生から作業療法の発展に何が必要だと思ふか…など、返答が難しい質問をされたりするイメージをもっている人もいるかと思いますが、実際はみなさんのイメージと異なった懇親会となっています。ベテランの先生が新人の先生にお酒を注いだり、お酒を飲みすぎて茹でダコのような真っ赤な顔になった先生もおられたり、お酒を交えた懇親会でしか見れない先生方の表情がたくさんありました。また、作業療法についての話だけ

でなく、趣味や健康、婚活・結婚についてなど、新人の先生とベテランの先生と一緒に話をする姿も多くみられました。懇親会の最後には今年結婚される先生を祝して万歳もしました。

研修会や部会でも親交は図れると思いますが、お酒を飲みリラックスした状態で交流することで色々な話ができ、先生同士の距離がより縮まると思います。

この文章を読み、懇親会に興味を抱いたあなた!!また、「知らない人と何を話せばいいのか」「1人で参加するのはちょっと…」 「(入会して何年も経つのに) いまさら…」などと言う理由から参加を躊躇されたあなた!!来年は是非一緒に『飲みニケーション』で親睦を図りましょう!!福利厚生部員がお待ちしております。

最後になりましたが、今回の懇親会開催にあたり多くの時間と労力を割いて頂いた福利厚生部員のみなさん本当にありがとうございました。

新入会員の横顔

1. 名前
2. 施設名
3. 出身校
4. どんなOTになりたいか
5. 仕事への熱意
6. 私の好きな言葉(座右の銘)
7. いつか行ってみたい場所
8. 今年チャレンジしたいと思っていること



1. 田嘉瑞紀
2. 富山協立病院
3. 富山医療福祉専門学校
4. 作業の特性を用いてリハビリをし、患者さんのニーズに応えられるOTになりたい
5. 勉強会に積極的に参加し知識や技術を身につけたい
6. 日進月歩
7. ヨーロッパ
8. あらきのラーメンの大盛り
にチャレンジする

中村 優美…南砺市民病院

本保 恵介…国立病院機構 富山病院

宮崎 翔…アルペンリハビリテーション病院

山瀬 紋菜…アルペンリハビリテーション病院



射水市は富山県のほぼ中央に位置し富山市、高岡市と隣接しています。日本海側最大級の新湊大橋、また、豊かな自然、伝統文化など、魅力ある地域資源や、湊湾・高速道路・鉄道など物流の拠点となる社会資本も備えています。

当院は病床数199床（一般病棟143床、地域包括ケア病棟52床、結核病棟4床）の総合病院です。射水市の唯一の公立病院として救急医療と地域医療を担っています。平成26年度の診療報酬改定により、9月より地域包括ケア病棟開設となりました。

リハビリテーション科のスタッフは、理学療法士4名、作業療法士2名で、作業療法の主な対象疾患は、運動器疾患では上腕骨近位部骨折、橈骨遠位端骨折、腰椎圧迫骨折、脳血管疾患では脳梗塞、呼吸器疾患では外科開腹術前後、誤嚥性肺炎

などです。

当院は平成19年より心臓リハビリテーションを行っています。平成26年度の診療報酬改定により、心大血管リハビリテーション科の施設基準に作業療法士の職名が追記されました。作業療法対象者には、心疾患を合併している患者が多くみられます。今後、作業療法士も心臓リハビリテーションに関わっていく必要があると感じています。

心臓リハビリテーション指導士の資格取得に向けて学会や研修会に参加し、知識の向上に努めていきたいと思えます。



福祉用具相談支援システム ご利用のお知らせ

日本作業療法士協会では、Webを利用して福祉用具相談支援システムを構築しております。富山県作業療法士会では相談アドバイザーを置き、今年の2月からこのシステムが利用できるようになりました。

皆さんは、日常の作業療法の中で福祉用具に関して気がかりな事があるのではないかと思います。そんな時、何となくそのままにしていた事ありませんか。

どんな福祉用具を適用したらよいかわからない事例、具体的な事例でなくても、〇〇に対してはどんな福祉用具があるのかしら？ちょっと知りたいことなど些細な事でも構いません。県士会員の利用は少ないのですが、ぜひこのシステムを活用してみたいかでしょうか。

本システムのWebを介しての相談は面倒かも知れません。でも、やり取りしているうちに問題点や考えが整理されていく、多方面の情報や視点を得ることができる等、利点があるのではないかと思います。また、福祉用具の活用により対象者・介護者ともに生活が快適になり、行動が拡大される事でしょう。

日常業務の多忙な中でも、ちょっと立ち止まって福祉用具に気付き、時間を作って相談をしてみてください。5名の相談アドバイザーは身障者、高齢者、小児、ITそれぞれの専門分野を持ち、皆さんからの相談をお待ちしています。

このシステムを利用するには利用登録が必要です。「福祉用具相談支援システム」にアクセスしてログインID：yokaot、パスワード：ototでログインして利用者登録を行います。詳しくは県士会ホームページより「福祉用具相談支援システム利用登録開始のお知らせ」をご覧ください。

多くの方の登録をお願いします。

相談アドバイザー：介護実習・普及センター 澤木佳子

第3回きときとハンドセラピィ勉強会開催のご案内

拝啓 時下、皆様におかれましては、ますますご清祥のことと心よりお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。

第3回きときとハンドセラピィ勉強会を下記の日程で開催致します。今回も前回に引き続き基礎的なテーマで行いたいと思います。多くの方のご参加をお待ち致しております。

参加申し込みは下記の事務局までご連絡ください。

敬具

内 容：ハンドセラピィに必要な機能解剖 ー肩関節編ー

講 師：杉森一仁先生（富山大学医学部整形外科）

症例検討 1～2例程度（お困りの症例がありましたら気軽に相談してください）

日 時：平成27年2月28日(土) 10：00～12：00

会 場：富山大学附属病院「臨床講義室2」 富山市杉谷2630

※当日、車でお越しの方は職員・学生駐車場をご利用ください。

参加費：500円

申し込み方法：氏名、所属、職種を下記の事務局までご連絡お願い致します。

申し込み締め切り：出来るだけ、平成27年2月23日(月)までをお願い致します。

以上

事務局：富山大学附属病院 リハビリテーション部 作業療法士 横山哲之

T E L：076-434-7850 F A X：076-434-5085

E-mail：shinot@med.u-toyama.ac.jp（今回から事務局のE-mailを変更しましたのでご注意ください。）

平成26年度 第4回理事会

場所：谷野呉山病院

日時：平成26年7月14日(月)19：00～

参加者：田村、松岡、作田、丸本、浅生、高林、
田邊、橋爪、吉波、谷口、松本、森、
島津、齋藤、小倉、広野

以下の事について検討した。

〈検討事項〉

1. 介護予防市町村支援事業実施に関する研修会（8月9日東京）の参加者7月25日締切ー渉外部部长橋爪氏が参加。今後この事業の担当とする。
2. 精神保健福祉協会表彰者の推薦8月8日締切ー国立病院機構北陸病院西尾氏を推薦。
3. 生活行為向上マネージメント推進委員会（担当理事松岡氏）の事業の具体化
 - ・12月県学会時に講座を開催。
 - ・各地区の地域包括支援センターアドバイザーを中心とした研修会の開催1～3月頃。協会から講師を招く。

4. 認知症初期集中支援チーム推進委員会（担当理事齊藤氏）の事業の具体化ーまず県内の実施状況を把握する。

〈報告事項〉

1. 富山県厚生部医務課より叙勲・褒章・知事表彰（県功勞表彰）候補者調書ー該当者無しで返事
2. 東京商工リサーチ、経済センサス・基礎調査及び商業統計調査提出
3. 都道府県連絡協議会からのアンケート及び協会・都道府県士会合同役職者研修会事前アンケート提出
4. OT協会ー全国の士会との取り組み（まずは施策的な取り組み）を強化するため平成27年度に47都道府県委員会（仮）を設置する。現在準備委員会で内容を検討している。
5. 普及指導事業部ー体験会、健康と長寿の祭典用に士会ネーム入りボールペン300本作製。他の事業でも必要であれば飯野氏まで連絡。
6. 高校生作業療法体験会ー7月27日厚生連高岡病院、8月24日県立中央病院で開催。合わせて

90名の参加申込み。県の後援をもらったことで案内を公共施設に置く事ができた。

7. 24時間TVでの作業療法士の広告申し込み。5万円で5回放映。
8. 定款をホームページに載せる。
9. 県学会－7月1日～8月31日演題オンライン登録

平成26年度 第5回理事会

場所：谷野呉山病院

日時：平成26年8月11日(月)19：00～

参加者：田村、作田、浅生、田邊、橋爪、丸本、吉波、島津、齊藤、谷口、松本、森、小倉、広野

以下の事について検討した。

〈検討事項〉

1. 介護予防市町村支援事業への取り組み－県高齢福祉課より連絡あり、8月下旬に田村氏・橋爪氏会談予定。
2. ぜんせいでん全国大会運営ボランティアの協力依頼－精神障害部より4名派遣する。
3. 東海北陸作業療法学会への広報担当者及び災害対策担当者の派遣依頼－広報関連会議：11月15日 10：30～12：00 広報部部長向氏に出席依頼。災害対策会議：11月16日 11：00～12：30 災害対策担当理事高林氏に出席依頼。
4. 平成27年度作業療法推進活動パイロット事業助成制度募集－来年度は全国研修会開催の為、見送りとする。
5. ほたるいかマラソンボランティアの募集－事務局長から各部会にメールで依頼する。加えて、福利厚生部からも県士会懇親会9月20日開催連絡に重ねてハガキにて協力者を募集する。
6. 27年度作業療法全国研修会準備－1月までにトピックス講座の2講座の企画を確定しなければならないので実行委員で案を検討する。
7. SIGの申請－「きときとハンドセラピィ勉強会」富山大学附属病院横山氏より申請されているが、継続的な活動が条件なので来年度に申請してもらう。

〈報告事項〉

1. 富山県介護福祉士会より8月22日開催の講習会講師派遣依頼－橋爪氏派遣。

2. 第14回東海北陸作業療法学会開会式臨席依頼－丸本氏出席。
3. 健康と長寿の祭典実行委員会－7月22日 田村氏出席。11月27・28日富山国際会議場で開催予定。26日にチラシ2000部の袋詰作業を行う予定で普及指導事業部に依頼。
4. ぜんせいでん全国大会in富山 各団体長会議 8月6日－丸本氏出席。
5. 三協会主催介護予防市町村支援事業に関する研修会8月9日東京－橋爪氏出席。
6. 精神保健福祉協会表彰者の推薦－国立病院機構北陸病院西尾氏推薦。
7. 体験会開催7月27日厚生連高岡病院－40名参加。TVニュースで放映される。
8. 合同役職研修会、全国研修会の打ち合わせ7月26・27日－作田氏・齊藤氏出席。研修会開催までのタイムスケジュールを説明。
9. 協会OT推進ポスター－士会ニュース発送時に同封する。
10. OT協会より「女性会員の協会活動の参画促進に関するアンケート」－理事がアンケートに答える。
11. 教育部－基礎研修、事例検討以外は終了。11月16日現職者研修会開催予定。
12. 訪問リハ研修会－8月3日、71名参加（内21名OT）来年2月にも開催予定。

平成26年度 第6回理事会

場所：谷野呉山病院

日時：平成26年9月8日(月)19：00～

参加者：田村、作田、浅生、田邊、橋爪、丸本、吉波、島津、齊藤、松岡、高林、松本、森、小倉、広野

以下の事について検討した。

〈検討事項〉

1. 平成26年度老人保健健康増進等事業「初期認知症および軽度認知症の人とその家族に対する効果的な支援構築に向けた調査研究事業」－OT協会認知症の人の生活支援推進委員会より介護予防事業および物忘れ外来担当者の紹介依頼が届き、田村会長が該当者に依頼予定。
2. 都道府県士会連絡協議会の今後のあり方－東海北陸支部の意見の把握と富山県士会の意見の

とりまとめ。OT協会が来年度より発足させる47委員会に移管することが望ましい。

4. 東海北陸支部リーダー研修会11月29・30日福井で開催－5名の参加要請。理事から島津氏・吉波氏、他は各部長に打診。

〈報告事項〉

1. ほたるいかマラソンボランティア13名参加予定。
2. 作業療法体験会8月24日 県立中央病院にて開催－40名の参加（高校生以外に保護者や教員も参加）
3. 24時間TV募金9,414円を北日本放送宛に送金
4. 東海北陸作業療法学会－11月15日広報担当者会議向氏出席・16日災害対策担当者会議高林氏出席。
5. 県高齢福祉課と「介護予防市町村支援事業」におけるOTの活用についての話し合い8月29日田村氏・橋爪氏－高齢福祉課で来年度に向けての市町村事業計画をみながら橋爪氏を窓口として連絡・協議していく。
6. 県作業療法学会－18題の演題登録あり。
7. 発達部会研修会8月24日開催－92名参加（OT33名・教師36名・他23名）。
8. 精神部会研修会9月19日開催－18名参加予定。
9. ぜんせいにれん全国大会ボランティア－両日2名協力。

平成26年度 第7回理事会

場所：富山医療福祉専門学校

日時：平成26年10月6日(日)19：00～

参加者：田村、作田、浅生、田邊、橋爪、丸本、吉波、島津、齊藤、松岡、高林、松本、森、小倉、広野

以下の事について検討した。

〈検討事項〉

1. 東海北陸作業療法学会座長依頼－11月15日：口述4地域のセッションは高林氏（アルカディア雨晴）・11月16日：ポスター5のセッションは市森氏（富山労災病院）。今後、東海北陸作業療法学会で県士会から座長を依頼した場合は、謝金1,000円を支払うこととする。

2. 平成26年度富山県福祉カレッジ特別講座「専門多職種とソーシャルワーク実践研修」11月29日(出)～30日(日)呉羽ハイツにて開催－理事田邊氏・浅生氏出席、他に精神部会や地域で働いているOTに打診予定。

3. OT協会表彰者推薦－該当者なし。
4. 東海北陸作業療法学会の参加費について－昨年度の富山で開催された学会は、富山県士会が運営費用を一部負担していた。今後、各県士会の負担をなくし、学会収入のみで運営するには8,000円程度が必要ではないか。
5. 富山県作業療法学会査読方法のあり方について－学術局長浅生氏を中心に検討していく。

〈報告事項〉

1. 東海北陸リーダー養成研修参加者－理事：吉波氏・島津氏、部長：能登氏（教育部）・佐々木氏（アクティビティ部会）・鷲尾氏（地域リハ部会）。
2. OT協会認知症の人の生活支援推進委員会の調査研究事業－物忘れ外来担当者齊藤氏（南砺市民病院）を紹介。
3. 東海北陸作業療法学会11月15日広報担当者会議－向氏に代わり高林氏出席。
4. 27年度全国研修会実行委員会
実行委員長：田村氏
副実行委員長兼事務局長：松岡氏・作田氏
会場担当：齊藤氏
受付担当：作田氏
講師接待担当：高林氏

トピックス2講座のテーマ検討－4案から協会担当者として相談して11月末までに決定する。

5. 高岡市介護認定審査委員－武内氏（高岡整志会病院）から佐賀氏（同）に交代。
6. 老人部会－11月8日に研修会予定。
7. ほたるいかマラソン－集合場所と日程確認。
8. 平成26年度富山県精神保健福祉大会長表彰－西尾好美氏（国立病院機構北陸病院）決定通知。
9. 訪問リハビリテーション地域リーダーにおける「地域ブロック制」導入について－訪問リハビリテーション振興財団と地域リーダーの連携を強化し、近隣県における協力・連携を促進する目的。富山県訪問リハビリ研究会役員で対応する。

作業療法体験会に参加して

藤の木病院 中平 昇吾

作業療法体験会が厚生連高岡病院、富山県立中央病院の2会場にて開催された。参加者は過去最高で、高校生だけではなく保護者や進路指導の先生など多くの参加者で賑わった。

高校生に作業療法の魅力を伝えらるのか…という不安もあったが、この日のために多くの作業療法士が集結し、6人程のグループに2人の作業療法士が対応し手厚い指導を行えた。最初は緊張していた高校生が、徐々に目を輝かせ最後の座談会では質問・意見が飛び交う様子を見て、人の「身体」と「心」の両面に働きかけられる作業療法士の強みを改めて実感した。

今回の体験会でポイントだと感じた3場面を紹介する。



①進路指導の先生の一言

「今まで成績優秀な生徒には理学療法士を、あまり優秀ではない生徒には作業療法士を勧めていました。今回の体験会に参加して考えを改めました。」世間一般における作業療法士の知名度・認知度はまだまだ低い。

②座談会の最後の最後にでた質問

「結局、作業療法と理学療法の違いってなんなんですか？」

「作業療法士になる！」と決めている人は少数で、「リハビリ職に就きたいけど、PT、OT、

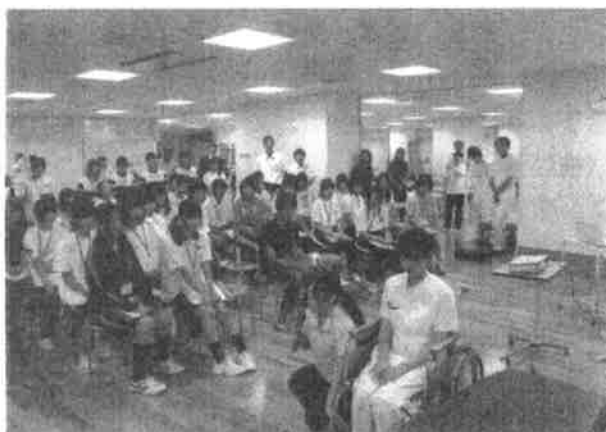


STで迷ってる…」「医療の場で働きたいけど看護師・介護士・リハビリで迷っている…」という人が殆どだった。確かにROM測定とトランスファー体験だけじゃあ「作業療法、を感じてもらいにくいかも…。

③入院の患者さん家族が…

県士会ののぼり旗を見て受付まで来てくれた。会場内には入れなかったが、興味を持って質問してくださり「こんな仕事があるなんて知らなかった！子供に話してみる！」と資料を持って帰ってくださった。もっと色々な形で啓発・普及事業は行えるかも…

改善点は見えたが参加者の多くは大満足で帰って行かれた。この体験会は毎年内容を見直しながらパワーアップしていく。来年はさらに良い体験会を作れると思う。体験会に参加して下さった先生方、本当にお疲れ様でした！



Toyama

Prosthetics & Orthotics Service

<http://www.tpo-morita.com>



【営業品目】

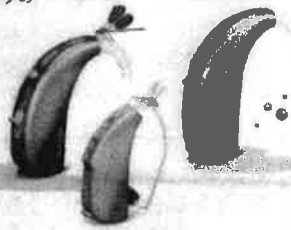
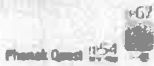
義手・義足・補装具等 製作修理

オーダーメイド靴 製作

車椅子・スローマ・補聴器

福祉用具貸与販売

高齢・高齢者の方をサポートする。
クレストシリーズのパワー&防水タイプの
補聴器です。



(株)富山県義肢製作所 富山県補聴器センター

〒930-0042 富山市泉町1丁目2-16

TEL (076) 425 - 4279

FAX (076) 425 - 4587

E-mail t-gishi@cronos.ocn.ne.jp

介護保険対応! ベッド・車椅子・レンタル!

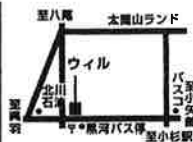
車椅子
→ 480円より
ベッド
→ 700円より



株式会社 **ウィル**

TEL (0766) **56-7099**

FAX 56-3395



手芸・毛糸の店

- 手芸糸 ハマナカ
 - 刺し子 オリムパス、ナスカ
 - ビーズ手芸 トーホー、ミユキ
 - マクラメ糸 ダルマ、川端
 - ちりめん手芸 東芸
 - その他 S.M、M.B他
- 各手芸材料取り扱いしています。



ポタン・手芸・毛糸

スギマサ

〒930-0083 富山市総曲輪3丁目7-9

TEL (076) 421-3444

FAX (076) 421-4334

■ OTを取り巻く状況

田村 良子

OT協会長から各都道府県知事に対して「介護予防市町村支援事業実施要綱一部改正における作業療法士の活用について（要望）」が5月13日付で送られました。この事業の目的の中に、「リハビリテーション専門職等を積極的に活用し、要介護状態になっても、生きがい・役割を持って生活できる地域の実現を目指す。」ことが明記されています。今回の介護予防の基本的な考え方は、リハビリテーションの理念を踏まえて、「心身機能」「活動」「参加」のそれぞれの要素にバランスよく働きかけることが重要であるとしています。

厚生労働省が「これまでの介護予防の手法は、心身機能を改善することを目的とした機能回復訓練に偏りがちであり、活動や社会参加を促す取組が十分ではなかった。」としています。このことから介護予防事業の見直しがなされ、介護予防を機能強化する観点から新事業「地域リハビリテーション活動支援事業」を追加しています。

これは市町村が実施するもので、「通所、訪問、地域ケア会議、サービス担当者会議、住民運営の通いの場等へのリハビリテーション専門職の関与を促進する。」ものです。先日、県の高齢福祉課の担当者と、この事業へのOTの関与について話し合いをしました。27年度から開始できるよう各市町村で検討が始まった所ということで、OTがどのようなことをするのかを知らせていく必要がある事が分かりました。OTの活用を要望しても、やはりまだまだOTの専門性は周知はされていません。その広報活動と共に、要請に応じてすぐ関与できる体制を作っておかなければなりません。士会側の緊急課題です。皆さんがどのように関与できるのか、調査を始める予定です。ご協力をお願いします。

賛助会員名簿

(順不同)

会員名(代表者)	住所	備考
温泉リハビリテーション いま泉病院 (理事長 大西仙泰)	〒939-8075 富山市今泉220 TEL076-425-1166	
(株)ウイル (代表取締役 黒田 勉)	〒939-0311 射水市黒河3075 TEL0766-56-7099	
酒井医療(株) 金沢オフィス (リーダー 小松 勉)	〒921-8036 金沢市弥生2-6-16 1F TEL076-241-5721	
平野 淑子	〒930-0008 富山市神通本町2-3-7 TEL076-432-6617	(有) クラフト 工房
富山医療福祉専門学校 (学校長 辻 政彦)	〒936-0023 滑川市柳原149-9 TEL076-476-0001	
(有)スギマサ洋装店 (代表取締役 杉政正規)	〒930-0083 富山市総曲輪3丁目7-9 TEL076-421-3444	
学校法人金城学園 金城大学 医療健康学部 (理事長 加藤 晃)	924-8511 石川県白山市笠間町1200 TEL076-276-4400(代)	

編集後記

11月になり、いよいよ各地で紅葉が見れる時期となりました。

私のお気に入り場所と言えば砺波にある「福助」というお蕎麦屋さんです。建物は築100年近い古民家を黒部から移築して改装しており、風情のあるお店です。11月になると窓から見える庭園の紅葉を見ながら美味しいお蕎麦を食べることができるのでおすすめです。

皆さんも自分ならではの紅葉をお楽しみ下さい。

M・N